

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	愛知県立大学
設置者名	愛知県公立大学法人

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
外国語学部	英米学科		16	0	7	23	13	
	ヨーロッパ学科 フランス語圏専攻				2	18	13	
	ヨーロッパ学科 スペイン語圏専攻				1	17	13	
	ヨーロッパ学科 ドイツ語圏専攻				0	16	13	
	中国学科				0	16	13	
	国際関係学科				0	16	13	
日本文化学部	国語国文学科		0	0	10	26	13	
	歴史文化学科				25	41	13	
教育福祉学部	教育発達学科		12	0	48	76	13	
	社会福祉学科				32	60	13	
看護学部	看護学科		12	0	106	118	13	
情報科学部	情報科学科		16	0	23	39	13	
(備考) 看護学部は全学共通科目を12単位までしか履修できない。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/kyoken/shugakushien/jitsumu.html">https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/kyoken/shugakushien/jitsumu.html</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	愛知県立大学
設置者名	愛知県公立大学法人

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.puc.aichi-pu.ac.jp/gaiyou.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	東邦ガス株式会社相談 役	2019.4.1～ 2021.3.31	法人運営
非常勤	愛知工業大学教授	2019.4.1～ 2021.3.31	法人運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	愛知県立大学
設置者名	愛知県公立大学法人

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画には、授業概要、到達目標、授業計画、授業時間外学習、教科書・参考書とともに成績評価の方法をその割合とともに記載している。全学教務委員会にて授業計画の記載内容について審議し、前年度1月下旬に各教員に記載すべき内容と留意事項とを提示した上で、授業計画の作成を依頼する。教員が作成した計画は、2月中旬に各学部の教務委員が記載内容の不備がないかを確認し、必要に応じて修正を依頼している。3月には授業計画が公開される。学内にはポータルサイトを用いて、学外向けには専用のウェブページを用いて公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://univ.aichi-pu.ac.jp/up/faces/login/Com00501B.jsp">https://univ.aichi-pu.ac.jp/up/faces/login/Com00501B.jsp</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価等の客観性、厳格性を担保するための方針を全教員に配付している。この方針には、成績評価方法及び採点基準をシラバスに明記すること、成績分布の著しい偏在に留意すること、成績評価に関する情報の開示に備えること、可能な限り試験後に答案を学生に返却し採点基準や平均点、成績分布を示すことなどを明示している。各授業科目の成績評価は、担当教員の責任下において、シラバスで公表している評価項目とその割合に基づいて行っている。成績に関する問い合わせに教員が直接学生に答えることは禁じており、必ず職員を介すことで成績管理の厳格性を担保している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  各履修科目の成績 (S, A, B, C, D、S~Cは合格、Dは不合格) から式</p> $GPA = \frac{4 \times S \text{ の単位数} + 3 \times A \text{ の単位数} + 2 \times B \text{ の単位数} + 1 \times C \text{ の単位数}}{S, A, B, C, D \text{ の単位数}}$ <p>によって算出される GPA を用いた成績指標を設定している。なお、入学前に取得するなどによって単位認定された科目や当該学科・専攻の卒業単位として認められない科目は GPA に算入されない。成績の登録によって各学生の GPA が教務システムによって自動的に計算され、成績とともに提示される。GPA の計算方法は大学ウェブサイトでの公表、学生便覧ならびに入学時ガイダンスにて学生に提示している。適正な成績評価の実施のため、成績分布については、共通科目では分野ごとに、専門教育科目では学科・専攻ごとに、S, A, B, C, D の割合を算出し、全学教務委員会および教育研究審議会に提示している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/grade/grade.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/grade/grade.html</a>、学生便覧</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  全学および学部または学科ごとに卒業認定方針を策定し、大学ウェブサイトで一般に公表している。卒業に係る基準として、卒業及び学位について、また、卒業に必要な修得単位数については学則に定められている。各学部の学位授与方針と卒業認定基準については学生便覧に明記して学生に周知するとともに、入学時のオリエンテーション及び在学生向け履修ガイダンスで分かりやすく説明している。学生の成績は教務システムに一元管理されており、各学部の教務委員会で在学期間などを含めて卒業判定の確認を行い、各学部教授会において審議したのち、最終的に学長が卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	愛知県立大学
設置者名	愛知県公立大学法人

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.puc.aichi-pu.ac.jp/osirase.html">https://www.puc.aichi-pu.ac.jp/osirase.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.puc.aichi-pu.ac.jp/osirase.html">https://www.puc.aichi-pu.ac.jp/osirase.html</a>
財産目録	-
事業報告書	<a href="https://www.puc.aichi-pu.ac.jp/osirase.html">https://www.puc.aichi-pu.ac.jp/osirase.html</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.puc.aichi-pu.ac.jp/osirase.html">https://www.puc.aichi-pu.ac.jp/osirase.html</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:愛知県公立大学法人2020年度年度計画 対象年度:2020年度)
公表方法: <a href="https://www.puc.aichi-pu.ac.jp/osirase.html">https://www.puc.aichi-pu.ac.jp/osirase.html</a>
中長期計画(名称:愛知県公立大学法人第三期中期計画 対象年度:2019~2024)
公表方法: <a href="https://www.puc.aichi-pu.ac.jp/osirase.html">https://www.puc.aichi-pu.ac.jp/osirase.html</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/university_self_inspection.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/university_self_inspection.html</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/accreditation.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/accreditation.html</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

① 教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 外国語学部
教育研究上の目的 (公表方法： <a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/purpose/purpose.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/purpose/purpose.html</a> ) (概要) 外国語学部は、外国語の高度で実践的な運用能力を身につけ、それを基礎として外国諸地域の社会、政治、経済、歴史、文学、文化、思想並びに言語に関する専門的知識を獲得し、国際社会に関する深い理解を養うとともに、世界の中で自らの文化の意義を自覚し、「グローバルな多文化共生」の実現に向けて、国際社会に活躍の場を見出し、あるいは地域の国際化に貢献しうる人材の育成を目指す。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： <a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html</a> ) (概要) 所定の期間在学した上で、外国語学部の教育理念・教育目標によって作成された学位授与方針に基づいて設定された専門教育科目および全学共通の教養教育科目を履修して所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。 外国語学部の学位授与方針 <a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/foreign_studies.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/foreign_studies.html</a>
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： <a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html</a> 、学生便覧、UNIPA に掲載) (概要) 学位授与方針に基づいて、知識・理解、汎用的技能、志向性、統合的な学習経験と創造的思考力を養成するために専門教育科目を設置している。また、知的関心、柔軟な思考力、他者との協同する態度の基盤を育成するために、全学共通の教養教育科目を設置している。外国語学部では科目ごとにカリキュラム・ポリシーを定め、ディプロマ・ポリシーとの結びつきを明確化している。 外国語学部のカリキュラム・ポリシー <a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/foreign_studies.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/foreign_studies.html</a>
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： <a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/foreign_studies.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/foreign_studies.html</a> ) (概要) 外国語学部では以下の人物を求める。 ・基礎的な学力を身につけ、特に英語や論理的思考に秀で、かつ日本語による文章表現能力を備えた人 ・外国語や異文化、国際問題や国際交流に強い関心があり、それに関わる専門科目とともに広く深い教養を学ぶことによって、地域社会や国際社会の発展のために貢献したいという高い志と意欲がある人
学部等名 日本文化学部
教育研究上の目的 (公表方法： <a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/purpose/purpose.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/purpose/purpose.html</a> )

<p>(概要)</p> <p>日本文化学部は国語国文学科と歴史文化学科の2学科で構成する。自らがその構成員として生きる、社会的・文化的な枠組としての日本を、学問研究の対象として見つめる、人文科学系・社会科学系の学部である。2学科で構成する本学部では、言語と文学ならびに歴史と社会という視点によって、複眼的かつ総合的に教育研究する。つまりそれは、文化創造活動の根本原理とその具体的な現れを、長い時代幅における変化と発展に即して、価値ある将来展望を見出す目的のもとに探求するものである。国際社会における文化交流が進展し、地球規模で解決すべき問題が次々に現れている。その中であって、地に足をつけた地域固有の文化創造活動の必要性がいよいよ高まりつつある。それが、人々の主体性を立ち上げる根拠になる。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>所定の期間在学した上で、日本文化学部の教育理念・教育目標によって作成された学位授与方針に基づいて設定された専門教育科目および全学共通の教養教育科目を履修して所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。</p> <p>日本文化学部の学位授与方針</p> <p><a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/japanese_studies.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/japanese_studies.html</a></p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html</a>、学生便覧、UNIPAに掲載)</p>
<p>(概要)</p> <p>学位授与方針に基づいて、知識・理解、汎用的技能、志向性、統合的な学習経験と創造的思考力を養成するために専門教育科目を設置している。また、知的関心、柔軟な思考力、他者との協同する態度の基盤を育成するために、全学共通の教養教育科目を設置している。日本文化学部では科目ごとにカリキュラム・ポリシーを定め、ディプロマ・ポリシーとの結びつきを明確化している。</p> <p>日本文化学部のカリキュラム・ポリシー</p> <p><a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/japanese_studies.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/japanese_studies.html</a></p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法： <a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/japanese_studies.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/japanese_studies.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>日本文化学部では以下の人物を求める。</p> <p>①世界の中での日本文化を理解するために必要な国語・社会に関する幅広い知識と関心を持つ人</p> <p>②社会や文化のあり方について、論理的に思考・判断し、それを他者に表現できる人</p> <p>③地域・社会に主体的に関わる意欲を持ち、それを世界に発信する態度を有する人</p>
<p>学部等名 教育福祉学部</p>
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/purpose/purpose.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/purpose/purpose.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>教育福祉学部では、人間の発達を支援する教育の科学と人間の生活の自立を目指す福祉の科学が協力・連携して「成熟した共生社会」の創造に貢献できるような教育と研究を推進することを目的とする。</p>

<p>卒業の認定に関する方針  (公表方法：  <a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/education_and_welfare.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/education_and_welfare.html</a>)</p>
<p>(概要)  所定の期間在学した上で、教育福祉学部の教育理念・教育目標によって作成された学位授与方針に基づいて設定された専門教育科目および全学共通の教養教育科目を履修して所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。  また、教育福祉学部では、学生が卒業時に次のような力を獲得していることをディプロマ・ポリシーとする。  ①教育と福祉を学際的に学ぶことで、人間の尊厳や発達に基づいた価値観を向上させる力  ②教育・福祉の諸問題について、専門性を発揮しつつ他職種と協働して問題を解決する力  ③教育・福祉の諸問題に関するさらなる探究や問題解決への志と思想</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針  (公表方法：<a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html</a>、学生便覧、UNIPAに掲載)</p>
<p>(概要)  学位授与方針に基づいて、知識・理解、汎用的技能、志向性、統合的な学習経験と創造的思考力を養成するために専門教育科目を設置している。また、知的関心、柔軟な思考力、他者との協同する態度の基盤を育成するために、全学共通の教養教育科目を設置している。教育福祉学部では学部教育の目的と各学科の教育目標に基づいてカリキュラムを編成し、ディプロマ・ポリシーの実現を目指している。  教育福祉学部のカリキュラム・ポリシー  <a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/education_and_welfare.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/education_and_welfare.html</a></p>
<p>入学者の受入れに関する方針  (公表方法：  <a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/education_and_welfare.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/education_and_welfare.html</a>)</p>
<p>(概要)  教育福祉学部では以下の人物を求める。  ・現代社会が抱える教育や福祉の問題に深い関心を持ち、地域社会に貢献しようとする高い志と意欲のある人  ・教育・福祉の専門的知識と技術を学際的に学ぶための基礎的な学力を備えた人  ・教育・福祉に関わる多様な問題を科学的に把握し、その解決方法を探究する土台となる論理的思考力を備えた人  ・教育・福祉の専門性を発揮しながら主体的に多様な他者や文化を理解し、協働するための基礎となるコミュニケーション力を備えた人</p>
<p>学部等名 看護学部</p>
<p>教育研究上の目的  (公表方法：<a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/purpose/purpose.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/purpose/purpose.html</a>)</p>
<p>(概要)  看護学部は、人間性を尊重した看護教育、実践力が身に付く実習を行うことにより、科学的な根拠に基づく確かな知識、専門技術を修得し、高い実践能力と的確な判断力を養うとともに、高い倫理性を有し、主体的に行動できる人間性豊かな人材を育成することを教育研究目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針  (公表方法：<a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html</a>)</p>



<p>(概要)</p> <p>看護学部では、21世紀の国際社会、少子高齢社会で活躍するのに必要な看護実践力を身につけることを目標とし、所定の期間在学した上で、看護学部の教育理念・教育目標によって作成された学位授与方針に基づいて設定された専門教育科目および全学共通の教養教育科目を履修して所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。</p> <p>看護学部のディプロマ・ポリシー</p> <p><a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/pdf/4-1.pdf">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/pdf/4-1.pdf</a></p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法:<a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html</a>、学生便覧、UNIPAに掲載)</p>
<p>(概要)</p> <p>学位授与方針に基づいて、知識・理解、汎用的技能、志向性、統合的な学習経験と創造的思考力を養成するために専門教育科目を設置している。また、知的関心、柔軟な思考力、他者との協同する態度の基盤を育成するために、全学共通の教養教育科目を設置している。看護学部では科目ごとにカリキュラム・ポリシーを定め、ディプロマ・ポリシーとの結びつきを明確化している。</p> <p>看護学部のカリキュラム・ポリシー</p> <p><a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/cp_nursing_and_health.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/cp_nursing_and_health.html</a></p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/pdf/4-3.pdf">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/pdf/4-3.pdf</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>看護学部では以下の人物を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人々と連携・協働するために必要な日本語力と英語力、生命現象を理解するために必要な理科と数学の基礎学力、社会の動きを理解するために必要な地理・歴史、公民の基礎学力を備えた人</li> <li>・論理的に思考、判断し、その結果を自分の意見として伝えることができる人</li> <li>・看護に関心を持って積極的に学習する意欲がある人</li> <li>・人間や人間を取り巻く社会の変化に関心を持ち、人に対する思いやりがあり、人と関わることができる人</li> </ul>
<p>学部等名 情報科学部</p>
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/purpose/purpose.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/purpose/purpose.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>情報科学部では、情報の科学と技術に関する基礎知識を身に付け、新たな情報技術に対応できる能力を有し、情報化社会を支えて社会で活躍できる実力を持つ情報システム技術者を養成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：<a href="https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html">https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>情報科学部では、情報システム技術者として情報科学の学問領域の発展に貢献するとともに、地域社会の構築・発展に貢献することのできる高度な情報技術と総合的思考力を身につけることを目標とし、所定の期間在学した上で、情報科学部の教育理念・教育目標によって作成された学位授与方針に基づいて設定された専門教育科目および全学共通の教養教育科目を履修して所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。</p> <p>情報科学部の学位授与方針</p>

<https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/pdf/5-1.pdf>

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法:<https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/index.html>、学生便覧、UNIPAに掲載)

(概要)

学位授与方針に基づいて、知識・理解、汎用的技能、志向性、統合的な学習経験と創造的思考力を養成するために専門教育科目を設置している。また、知的関心、柔軟な思考力、他者との協同する態度の基盤を育成するために、全学共通の教養教育科目を設置している。情報科学部では科目ごとにカリキュラム・ポリシーを定め、ディプロマ・ポリシーとの結びつきを明確化している。

情報科学部のカリキュラム・ポリシー

[https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/cp\\_information\\_science\\_and\\_technology.html](https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/cp_information_science_and_technology.html)

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：[https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/pdf/5-3\\_20171130.pdf](https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/policy/pdf/5-3_20171130.pdf))

(概要)

情報科学部では以下の人物を求める。

- ・高等学校で身につけるべき基礎的な知識・技能、特に数学の力を備えた人
- ・基礎的な知識・技能を元にして問題を解決できる論理的思考力、ならびに自らの考えを表現する力を備えた人
- ・情報科学に強い関心があり、その知識と技術を高めることによって社会の発展のために自らを生かしたいという意欲のある人

② 教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

<https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/cell/index.html>

<https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/cell/department.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
外国語学部	—	36人	34人	9人	0人	0人	79人
日本文化学部	—	9人	9人	0人	0人	0人	18人
教育福祉学部	—	13人	13人	1人	0人	0人	27人
看護学部	—	15人	13人	9人	10人	1人	48人
情報科学部	—	15人	11人	4人	0人	0人	30人
一般教養	—	0人	4人	0人	0人	0人	4人
その他	—	0人	2人	1人	0人	0人	3人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		354人					354人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： <a href="http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/gakujyo/kenkyushien/researcher/index.html">http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/gakujyo/kenkyushien/researcher/index.html</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
外国語学部	340人	365人	107.4%	1360人	1648人	121.2%	0人	0人
日本文化学部	100人	108人	108.0%	400人	450人	112.5%	0人	0人
教育福祉学部	90人	95人	105.6%	360人	389人	108.1%	0人	0人
看護学部	90人	91人	101.1%	360人	363人	100.8%	0人	0人
情報科学部	90人	96人	106.7%	360人	397人	110.3%	0人	3人
合計	710人	755人	106.3%	2840人	3247人	114.3%	0人	3人
(備考) 編入学定員：情報科学部のみ実施。定員は「若干名」。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
外国語学部	379人 (100.0%)	4人 (1.1%)	362人 (95.5%)	13人 (3.4%)
日本文化学部	116人 (100.0%)	5人 (4.3%)	106人 (91.4%)	5人 (4.3%)

教育福祉学部	103人 (100.0%)	4人 (3.9%)	99人 (96.1%)	0人 (0.0%)
看護学部	91人 (100.0%)	3人 (3.3%)	88人 (96.7%)	0人 (0.0%)
情報科学部	92人 (100.0%)	38人 (41.3%)	50人 (54.4%)	4人 (4.3%)
合計	781人 (100.0%)	54人 (6.9%)	705人 (90.3%)	22人 (2.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>授業計画には、授業概要、到達目標、授業計画、授業時間外学習、教科書・参考書とともに成績評価の方法をその割合とともに記載している。全学教務委員会にて授業計画の記載内容について審議し、前年度 1 月下旬に各教員に記載すべき内容と留意事項とを提示した上で、授業計画の作成を依頼する。教員が作成した計画は、2月中旬に各学部の教務委員が記載内容の不備がないかを確認し、必要に応じて修正を依頼している。3月には授業計画が公開される。学内にはポータルサイトを用いて、学外向けには専用のウェブページを用いて公表している。</p>

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
<p>成績評価等の客観性、厳格性を担保するための方針を全教員に配付している。この方針には、成績評価方法及び採点基準をシラバスに明記すること、成績分布の著しい偏在に留意すること、成績評価に関する情報の開示に備えること、可能な限り試験後に答案を学生に返却し採点基準や平均点、成績分布を示すことなどを明示している。各授業科目の成績評価は、担当教員の責任下において、シラバスで公表している評価項目とその割合に基づいて行っている。成績に関する問い合わせに教員が直接学生に答えることは禁じており、必ず職員を介すことで成績管理の厳格性を担保している。</p> <p>卒業認定にあたっては、全学および学部ごとに卒業認定方針を策定し、大学ウェブサイトにて一般に公表している。卒業に係る基準として、卒業及び学位について、また、卒業に必要な修得単位数については学則に定められている。各学部の学位授与方針と卒業認定基準については学生便覧に明記して学生に周知するとともに、入学時のオリエンテーション及び在学生向け履修ガイダンスで分かりやすく説明している。学生の成績は教務システ</p>

ムに一元管理されており、各学部の教務委員会で在学期間などを含めて卒業判定の確認を行い、各学部教授会において審議したのち、最終的に学長が卒業を認定している。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
外国語学部	英米学科	124 単位		
	ヨーロッパ学科	124 単位		
	中国学科	124 単位		
	国際関係学科	124 単位		
日本文化学部	国語国文学科	124 単位		
	歴史文化学科	124 単位		
教育福祉学部	教育発達学科	124 単位		
	社会福祉学科	124 単位		
看護学部	看護学科	127 単位		
情報科学部	情報科学科	125 単位		
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 :

<https://www.aichi-pu.ac.jp/about/special/campusmap.html>

<https://www.aichi-pu.ac.jp/about/special/campusmap02.html>

<https://www.aichi-pu.ac.jp/disclosure/environment/education.html>

[https://www.aichi-pu.ac.jp/education\\_and\\_research/index.html](https://www.aichi-pu.ac.jp/education_and_research/index.html)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
全学部学科		535,800 円	282,000 円	0 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

全新入生に対して、各種ガイダンス、オリエンテーションを実施している。その中で、授業の履修に関わるものは、全学履修ガイダンス、学科・専攻別履修ガイダンス及び個別履修相談で行っている。全学履修ガイダンスでは、履修方法や成績評価を中心に大学での学びの特徴について説明し、学科・専攻別履修ガイダンスでは、各学科・専攻における授業科目の説明、必修単位数、履修における注意点を中心に説明を行っている。看護学部は、守山キャンパスにおける教務及び学生支援に関して看護学部ガイダンスを実施している。さらに学科別ガイダンスで、授業科目の選択やゼミの選択、卒業論文・卒業研究に関する説明を行うとともに、履修相談も実施している。学生支援に係わる情報については学生便覧、オリエンテーション、教育支援システムポータルサイト、掲示を通じて学生に周知している。また、授業時間外における学習支援として、S Aを活用した図書館パソコン室等での利用サポート

や、外国語でのコミュニケーション上達のための留学生やネイティブ教員と会話ができる時間の設定(iContact)、ネイティブ教員が英語の授業に関する相談、検定試験対策、学会発表サポートなど学生の個別相談に対応する「教養英語相談室」の設置など、学生の個別ニーズに対する支援も行っている。

障害者差別解消法の施行を受けて「障害学生支援連絡会議」を立ち上げ、大学として障害のある学生の支援を行っている。障害学生支援コーディネーターによる支援内容の調整、登録した学生が修学支援サポーターとして、講義の内容を知るために必要な情報保障（ノートテイク）、授業で使用する映像の字幕付けなどの支援を行っている。

#### b. 進路選択に係る支援に関する取組

##### (概要)

キャリア支援室による就職相談は、長久手キャンパスに専門相談員を配置する他、名古屋駅近くのサテライトキャンパスでも週に3日程度の相談日を設定し、就職活動中の学生が利用しやすい環境を整備している。長久手キャンパスでは、就職相談の他、就職ガイダンス及び学内企業説明会の開催、模擬面接等を実施している。またインターンシップについては、企業とのマッチングをはじめ、ガイダンス、事前事後研修、体験報告会等を行っている。守山キャンパスでは、看護学部及び看護学研究科学生を対象とした進路情報室を設置し、進路説明会、実習病院による就職説明会を開催するほか、学部4年生を対象とした外部講師による看護師国家試験対策講座や模擬試験を実施している。

#### c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

##### (概要)

学生の健康管理については、保健師が健康相談のほか、定期健康診断、応急処置、禁煙指導等の啓発活動を含む総合的な健康管理に携わっている。心理的な相談については、学生相談室を開室し、学生相談カウンセラー（臨床心理士）による相談を毎日実施し、精神科校医によるメンタルヘルス相談を年間7回行っている。

また、学生生活の様々な問題に対応できるように、学生相談室制度に基づく学生相談員（各学科、研究科から選出された教員）が、学生の指導・助言・支援を行う重層的な支援体制を構築しており、大学Web ページで情報提供をしている。更に適切な支援が行えるように、保健室（保健師）と学生相談コーディネーター（カウンセラー）及び障害学生支援コーディネーターの三者で、毎週、情報共有を行い、学務課と緊密に連携を図りながら支援に繋げている。

#### ⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：[https://www.aichi-pu.ac.jp/education\\_and\\_research/index.html](https://www.aichi-pu.ac.jp/education_and_research/index.html)